

科目名 (科目番号)	病態・治療論 I (073151)	教員名 大越 教夫 ほか	学科等	看護	必修	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
			オフィスアワー		第一キャンパス(大越)		
授業概要	治療の基礎的事項について学ぶ。さらに、治療の対象となる呼吸器疾患、循環系疾患、消化器系疾患、神経機能系疾患、内分泌・栄養・代謝系疾患、血液・造血器系疾患、免疫・感染防御系疾患、小児疾患に関する基本的な知識を修得する。 関係する垂直軸:健康の状態、人間の理解、生活環境、自己研鑽						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	診断過程総論	到達目標:問診、身体所見、検体検査について理解する。 学習内容:診断過程について学習する。				
	2	外科学総論	到達目標:手術療法に対する術前・術中・術後と合併症の管理と外科的感染症について理解する。 学習内容:手術療法の目的、周術期と術後合併症の管理、外科的感染症について学習する。				
	3	呼吸器疾患(4回)	到達目標:呼吸器系の健康障害と人間の反応について理解する。 学習内容:咳嗽・喀痰、呼吸不全、呼吸器感染症、閉塞性・拘束性障害を来す肺疾患、肺循環障害、気胸、腫瘍などについて学習する。				
	4						
	5						
	6						
	7	循環器疾患(4回)	到達目標:循環器系の健康障害と人間の反応について理解する。 学習内容:心不全、虚血性心疾患、主な不整脈、主な弁膜症、心筋・心膜疾患、動脈疾患、静脈疾患、控滅症候群、血圧異常、ショック、チアノーゼなどについて学習する。				
	8						
	9						
	10						
	11	消化器疾患(4回)	到達目標:消化器系の健康障害と人間の反応について理解する。 学習内容:主な口腔・咽頭の疾患、う歯、歯周病、嚥下障害、嘔気・嘔吐、主な消化管疾患腹痛・腹部膨満、イレウス、排便障害、下血・黄疸、主な肝臓・胆嚢・膵臓疾患、腹壁・腹膜・横隔膜の疾患、食中毒などについて学習する。				
	12						
	13						
	14						
	15	脳・神経疾患(4回)	到達目標:神経機能系の健康障害と人間の反応について理解する。 学習内容:主な脳脊髄疾患、頭痛、運動の異常(麻痺・失調)、言語障害、認知症、主な末梢神経疾患などについて学習する。				
	16						
	17						
	18						
	19	内分泌・代謝疾患(2回)	到達目標:内分泌・栄養・代謝系の健康障害と人間の反応について理解する。 学習内容:主な間脳・下垂体疾患、主な甲状腺疾患、主な副甲状腺(上皮小体)疾患、主な副腎皮質・髄質疾患、内分泌系の腫瘍、メタボリックシンドローム、肥満症、糖尿病、脂質異常症、高尿酸血症、痛風、ビタミン欠乏症などについて学習する。				
	20						
	21	血液・造血器疾患(2回)	到達目標:血液・造血器系の健康障害と人間の反応について理解する。 学習内容:貧血、白血球減少症、白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、出血性疾患などについて学習する。				
	22						
	23	感染症・アレルギー・膠原病(2回)	到達目標:免疫・感染防御系の健康障害と人間の反応について理解できる。 学習内容:主なウイルス感染症、主な細菌感染症、主なマイコプラズマ、クラミジア、リケッチア感染症、主な真菌感染症、寄生虫症、医療関連感染、日和見感染、敗血症、免疫不全症、アレルギー疾患、自己免疫疾患などについて学習する。				
	24						
	25	小児疾患(6回)	到達目標:小児特有の健康障害と人間の反応について理解できる。 学習内容:発育不全、先天性疾患、脳性麻痺、発達障害、児童虐待などについて学習する。				
	26						
	27						
	28						
	29						
30							
成績評価の方法・基準	期末試験(100%)						
教科書	NICE病態治療論シリーズ: ①病態・治療総論 ②呼吸器疾患 ③循環器疾患 ④消化器疾患 ⑤内分泌・代謝疾患 ⑥血液・造血器疾患 ⑦腎・泌尿器疾患 ⑧脳・神経疾患 ⑨運動器疾患 ⑩感染症/アレルギー/膠原病 ⑪皮膚/耳鼻咽喉科/眼/歯・口腔疾患 ⑫精神疾患 ⑬産婦人科疾患 ⑭小児疾患					石松伸一 林直子 鈴木久美 他	南江堂
参考図書							
教員からのメッセージ	専任教員、大越(医師)が担当するのは、第1・3・4・7・8・11・12・15・16・19～24回です。その他は非常勤講師(医師)がオムニバスで担当します。看護の実践で土台の1つとなる健康障害やそのメカニズム、治療等の知識です。教育経験・臨床経験豊富なスペシャリストからの知的刺激あふれる講義ですので、みなさんの講義への積極的な参加(事前・事後学習、質問)を期待します。						